

講義名	卒業研究				
講義コード	44405	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
担当教員	青山 将己				

学部・学科	演習分野
全学部学科対象	青山将己ゼミナール(スポーツプロモーション)

**概要説明**

○4回生のゼミ活動  
就職活動を柱に置きながら、卒業研究に取り組んでまいります。もし教員に同行して国内外の学会に参加したい、発表を行いたいという学生は大歓迎です。その他、新歓、忘年会、BBQ、追いコンなど様々な行事を予定しています。基本的には、学生主体でこれらのイベントを行うため、こうしたイベントを通して、社会人の基礎・マナー、及びマネジメント力を身につけていただきます。

**主な卒業論文のタイトル**

**教員よりの要望**

ゼミは講義と違い、自主的に行う活動です。自分の興味あるテーマやトピックについてとことん追求してください。また、課外活動(須磨ユニバーサルビーチ活性化プロジェクト、マスターズ甲子園運営ボランティア、神戸マラソンランナー調査等)を通して、企画運営能力を習得していただきます。必ず就職活動に活きるはずですので、積極的な行動を期待します。

**選考方法**

ゼミ希望者の履歴書、成績、面接を総合的に判断しながら選考します。必ず個別ガイダンスにお越しください。

評価方法	
出席、課題(レポート、プレゼンテーションなど)、ゼミ活動に対する積極性や貢献度によって評価します。	

教員英字氏名	研究室
Masaki Aoyama	5419

**最終学歴**  
神戸大学大学院人間発達環境学研究所 博士後期課程修了

**学位**  
博士(学術)

**主な研究活動・社会活動・研究業績**

現在の研究テーマ  
・パラスポーツのダイバーシティ&インクルージョン  
・ユニバーサル・スポーツツーリズム  
・メカスポーツイベントにおけるノンホストシティのレバレッジ

社会活動  
・マスターズ甲子園 実行委員会 実行委員  
・兵庫県障害者スポーツ協会 評議員

主な研究業績  
・青山将己, 山口志郎, & 山口泰雄. (2019). PMBOK (Project Management Body of Knowledge) を用いた代表チーム事前合宿におけるステークホルダー・マネジメントプロセス: 兵庫県・淡路市のケーススタディ. スポーツ産業学研究, 29(1), 29-25-29-37.  
・青山将己, 山口泰雄, & 長ヶ原誠. (2022). オランダオリンピック委員会・パラリンピック委員会の統合背景とその影響: 新制度派組織論の枠組みを用いて. 生涯スポーツ学研究, 18(2), 1-12.  
・青山将己, 山口泰雄, & 長ヶ原誠. (2020). 中央競技団体における障害者スポーツの統合・インクルージョン指標の構築: OCIIIS ステージを用いて. 体育学研究, 65, 383-400.  
・青山将己, & 山口泰雄. (2017). 東京オリンピック・パラリンピック 2020 におけるホストタウン事業計画の類型化に関する事例研究. イベント学研究= Journal of eventology, 2(1), 25-35.

**趣味・特技**  
スポーツ観戦

**所属**  
人間社会学部人間健康学科

**所属学会**  
日本体育・スポーツ・健康学会、日本生涯スポーツ学会、日本スポーツ産業学会、日本体育・スポーツ政策学会、イベント学会、兵庫体育・スポーツ科学学会

**専門分野**  
スポーツプロモーション、スポーツイベント、パラスポーツ、ユニバーサル・スポーツツーリズム

**担当科目**  
スポーツビジネス論、スポーツ文化論、アダプテッドスポーツ論、健康・スポーツ関連企業分析、健康サービス企画運営演習、専門基礎演習、教養特講 (人間健康学科へのいざない)、研究演習、研究演習、卒業研究

**備考**

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり  
教員が実行委員を務める、マスターズ甲子園に参加していただきます。  
マスターズ甲子園の運営委員会(他大学で実施)に参加し、イベントを動かす運営委員としてイベントの企画・運営を学んでいただきます。